

# マネージメント情報

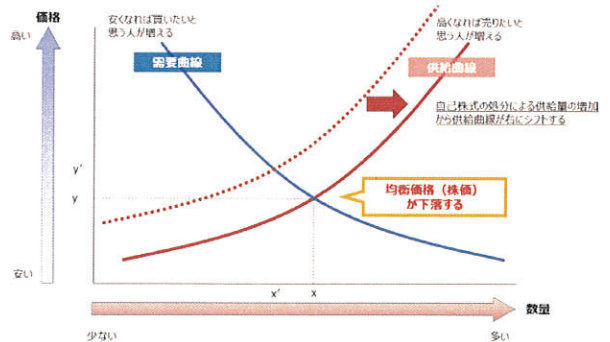
## ※和牛の受精卵移植が増えると市場価格が下がる…？

昨年来、生乳の生産抑制や様々な経費の高騰に伴い和牛受精卵移植をする酪農家が増加しています。最近この状態が続くと和牛の市場価格が下がってしまうと心配する声をよく耳にします。

しかし、その答えは“NO”です。

一般的に市場価格は以下の3つの要素で決まります。

- ・ 需要と供給のバランス
- ・ 原価（受精卵代金・移植料・養畜費）
- ・ 付加価値（牛の状態・血統）



販売する人（供給側）は高く売りたいし、購入する人（需要側）は安く購入したいという真逆の関係のバランスということになります。

和牛の場合生産者は高ければ高いほど良く購入者は安ければ安いほど良いわけです。実際にはその中間の均衡価格で売買されています。

しかし、現実には高いものには高い理由、安いものには安い理由があります。

開催月	黒毛和種 初生 雄					黒毛和種 初生 メス				
	出場	売買	最高	最低	平均価格	出場	売買	最高	最低	平均価格
4月	112	110	704,000	3,300	582,630	90	89	635,800	88,060	464,447
5月	135	130	673,200	100,100	517,135	88	83	606,100	161,700	456,805
6月	186	183	642,400	22,000	482,840	140	136	809,600	24,200	429,726
7月	167	163	657,800	181,500	465,732	107	105	801,900	44,000	403,365
8月	230	217	661,100	5,500	407,279	179	172	829,400	89,100	367,611
9月	198	191	573,100	33,000	378,947	146	139	737,000	78,100	301,171
10月	185	178	587,400	1,100	388,930	137	133	754,600	90,200	315,095
11月	269	260	657,700	110,000	370,146	197	189	759,000	58,300	307,901
12月	249	234	638,000	2,200	361,811	163	156	1,985,500	119	287,848
1月	140	135	585,200	33,000	374,350	96	92	1,001,000	35,000	311,109
2月	0	0	0		0	0	0	0		0
3月	0	0	0		0	0	0	0		0
年度計	1,871	1,801	704,000	1,100	420,332	1,343	1,294	1,985,500	110	353,578

左の表は今年度のホクレン根室家畜市場の黒毛和牛初生雄雌の毎月の市場価格を表示しています。

全体的には下がってきていますが平均価格と最高価格の間には雄で12万円～25万円、雌で16万円～45万円（11月と12月は別として）の差がありますが最高価格は雄雌いずれも高値で安定しています。

大きく値崩れしているのは最低価格です。

結論から言いますと需要と供給のバランスが崩れるとその影響を最も受けるのは下位の“裾物”になり上位の“上物”への影響は無いということになります。

では初生和牛の場合の上物とは（根室市場は初生がメインになるので）

- 1, 見た目…大きさ（体重と増体）、健康（下痢・呼吸器病がない）、綺麗！
- 2, 血統…流行、肉質

最も重要なポイントは“見た目”です。十分に体重があり、毛艶（ウンコがついているのは

もってのほか)で元気なことです。いくら血統が良くても痩せていて毛艶がわるく(脱毛・皮膚病)、尻尾に下痢のウンコがついているようでは値段はつきません。

今から10年ほど前に鹿児島県に和牛の視察に行ったことがあります。その時に黒毛和牛の家畜市場の競りを見ることができました。

驚いたことに、モクシは麻ではなく赤や紫の化粧モクシで競りにかかるまで持ち主が一家総出でブラシをかけていました。もちろん糞が体についている牛など1頭もいません。

さらに驚くことに平日にもかかわらず家族とおぼしき小学生の姿もありました。

手塩にかけた牛を最後の最後まで納得するまで手を掛けて1円でも高く競り落とされるようにという気持ちがヒシヒシと伝わってきました。

さすがにここまでとは言いませんが、この地域でもせめて糞が付いていない状態で市場に出すくらいはできて良いのではと思います。

農場によってコストは違いますが現状の飼料コストを考えると10,000kg出荷したとしても乳代から経費を引くと手取りは30万円前後かと思しますので、先に示したホクレン根室市場の価格を見てください。(但し、ちゃんと分娩させて出荷ができての話ですが…)

厳しい環境とはいえ、まだまだやれることはあるのではないのでしょうか。

この欄で何度も書いてきましたが、酪農家は絶対的に乳生産が基本とした健全な経営を営まなければなりません。黒毛和牛の生産はあくまでも安定した酪農経営が大前提ですので、ここはしっかりと押さえていただきプラスαとしての和牛子牛生産を想定していただきたいと思っています。

これは酪農家だけに与えられた特権の様な経営形態(方法)です。

.....

・THMSのホームページが新しくなりました。

「牛と人と共に～“Nothing Challenge Nothing Gain”」というTHMS開業以来の基本的な考え方をあらためて言葉にしました。

いつまでも顧客のみなさんの農場と一緒に歩む技術者集団でありたいという基本理念です。時間があれば訪問してみてください。

・先日訪問先の従業員さんから少し嬉しいことを言われました。その方は前職が介護の仕事をしていましたが、私に「姿勢が良いので介護にはなりませんよ」と言ってくれました。前期高齢者の私には一番の褒め言葉でした。

・THMSジェネティックスのOPU牛舎の預託牛(自社所有も含めて)も30頭を超えました。60頭規模の牛舎ですので半分以上埋まりました。現時点では毎週10頭前後の頭数のOPUを真冬が続きますが30℃のOPU室の中で汗だくで行っています。